

事務事業名		放射性物質被害畜産総合対策事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																									
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 H24 年度～)																									
	基本事業名	02 農業経営の安定支援		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		岩手県公共牧場利用自肅対策事業補助金交付要領及び岩手県利用自肅牧草等処理円滑化事業費補助金交付要領		予算科目 会計 01 款 06 項 01 目 04 事業 10																									
所属	部課名	農林水産部農林課		事務事業区分																									
	課長名	菅原 博幸		A 政策事業 B 施設整備																									
	係 名	農政係	電話 27-3111	C 施設管理 D 補助金等																									
	担当者	星上 順一	内線 7123	E 一般(A～D以外)																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・東京電力原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、飼料の暫定許容値を超過し、利用自肅の要請対象となった牧草の処理を促進を図るため、市町村が岩手県利用自肅牧草等処理円滑化事業実施要領に基づいて岩手県利用自肅牧草等処理円滑化事業を行う場合に要する経費に対して市が補助する場合に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。 ・利用自肅公共牧場以外の公共牧場において、牛の放牧等を行う場合における畜産農家の負担の軽減を図るため、畜産農家、農業協同組合等が、実施要領に定める公共牧場広域利用事業、預託施設利用事業及び自家施設等利用事業を行う場合に要する経費に対して市町村が補助する場合に要する経費及び市が耕起不能箇所隔離事業を行った場所に放牧施設再配置事業を行う経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。 ・平成26年度より夏虫山・大窪山公共牧場で放牧が可能となった17haで試験放牧として17頭の放牧を開始した。 ・平成27年度を以て当該事業に対する県の事業が終了したことから、平成28年度の事務事業は終了した。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計 (B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
前年度実績(前年度に行った主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 除染作業申込数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 公共牧場広域利用事業申込数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ 利用自肅牧草一時保管農家数</td> <td>件</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 除染作業申込数	件	イ 公共牧場広域利用事業申込数	件	ウ 利用自肅牧草一時保管農家数	件
名称	単位										
ア 除染作業申込数	件										
イ 公共牧場広域利用事業申込数	件										
ウ 利用自肅牧草一時保管農家数	件										
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 除染対象面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>キ 畜産農家保有牛</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>ク 畜産農家が一時保管した利用自肅牧草量</td> <td>t</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 除染対象面積	ha	キ 畜産農家保有牛	頭	ク 畜産農家が一時保管した利用自肅牧草量	t
名称	単位										
カ 除染対象面積	ha										
キ 畜産農家保有牛	頭										
ク 畜産農家が一時保管した利用自肅牧草量	t										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・除染対象面積 ・畜産農家保有牛 ・畜産農家が一時保管した利用自肅牧草		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 牧草地の除染完了面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>シ 公共牧場広域利用事業対象牛</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量</td> <td>t</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 牧草地の除染完了面積	ha	シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭	ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量	t
名称	単位										
サ 牧草地の除染完了面積	ha										
シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭										
ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量	t										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
・牧草地の除染完了面積 ・公共牧場広域利用事業対象牛 ・一時保管が完了した利用自肅牧草量		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 牧草地の除染完了面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>シ 公共牧場広域利用事業対象牛</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量</td> <td>t</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 牧草地の除染完了面積	ha	シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭	ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量	t
名称	単位										
サ 牧草地の除染完了面積	ha										
シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭										
ス 一時保管が完了した利用自肅牧草量	t										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
・安定して農業を営む。											

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円					
		都道府県支出金	千 円	403	0	0	0	0
		地方債	千 円					
		その他	千 円					
		一般財源	千 円	403	0	0	0	0
	人件費	事業費計 (A)	千 円	806	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	500	24	24	24	24
		人件費計 (B)	千 円	2,000	96	96	96	96
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	2,806	96	96	96	96
⑤活動指標	ア	件	0	0	0	0	0	0
	イ	件	18	0	0	0	0	0
	ウ	件	0	0	0	0	0	0
⑥対象指標	カ	ha	0	0	0	0	0	0
	キ	頭	190	0	0	0	0	0
	ク	t	0	0	0	0	0	0
⑦成果指標	サ	ha	0	0	0	0	0	0
	シ	頭	40	0	0	0	0	0
	ス	t	57	57	57	57	57	57

事務事業ID	1576	事務事業名	放射性物質被害畜産総合対策事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・東京電力原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、市内の牧草が暫定許容値を超え、利用自粛となったため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・岩手県公共牧場利用自粛対策事業補助金交付要領
・岩手県利用自粛牧草等処理円滑化事業費補助金交付要領

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・早期の除染作業対応を求められてる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- ① 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止



(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

・牧草地の耕起不能箇所の取扱いを検討する。
・夏虫山放牧場の牧草地の取扱いを検討する。
・一時保管した牧草の焼却等の最終処分方法が未確定である。

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- ① 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容